

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work PracticeⅠ）		
ナンバリングコード	E20926	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年／開講期	2年／通年
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E021502	クラス名	2021以降学生用
担当教員名	河村 裕次、田中 秀和、林 孝和		
履修上の注意、 履修条件	「社会福祉援助技術演習Ⅱ」の履修には、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の単位を修得していることが条件となります。 聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え、積極的に取り組むことを心がけてください。 また、やむを得ない場合を除いて、欠席、遅刻は認められません。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	相澤譲治・植戸貴子他編(2012)『ソーシャルワーク演習ケースブック』みらい 澤伊三男他編『社会福祉援助技術演習ワークブック』相川書房 山田容他著『ワークブック社会福祉援助技術演習1～5』ミネルヴァ書房		
関連科目	相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、社会福祉援助技術現場実習、社会福祉援助技術現場実習指導、社会福祉援助		

○基本情報		
授業の目的	① ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。 ② ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解する。 ③ ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。 ④ ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。	
授業の概要	社会福祉援助技術演習Ⅰでは、まず相談援助職に求められる姿勢(価値観、自己覚知等)についてグループ活動を通じて学んでいきます。その後、ソーシャルワークの援助過程について、事例をもとにそれぞれの過程で何を目的に援助職は何をするのかについて考えていきます。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリーⅢ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	グループ活動に積極的に参加することができる。		10点	10点
【知識・理解】	社会福祉士に求められる相談援助に係る知識について理解している。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	グループ活動や発表において、自分の考えを適切に伝えることができる。		15点	15点
【思考・判断・創造】	講義を通じて、学んだことを専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。		15点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
各種提出物をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。	

○その他
グループワークが中心とした講義となります。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work Practice） 河村 裕次、田中 秀和、林 孝和	授業コード	E021502
学修内容					
1. オリエンテーション 社会福祉援助技術演習Ⅰの意義・目的・内容について説明。					
予習	シラバスを確認し、授業の内容を把握しておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
2. 自己覚知① 自己理解, 他者理解 自己理解, 他者理解について学ぶ。					
予習	自己を理解することがソーシャルワークにどのようにつながるのか, 調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
3. 自己覚知② 疑似体験①(車椅子) 車椅子の扱い方について学ぶ。 車椅子利用者について理解する。					
予習	車いすが必要な人の生活について調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
4. 自己覚知③ 疑似体験②(ブラインドウォーク) 視覚障がい者への支援について学ぶ。 視覚障がい者について理解する。					
予習	視覚障害の方の生活について調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
5. 自己覚知④ 価値観について 価値観の違いについて理解する。					
予習	個々の価値観がソーシャルワークにどのように影響するのか調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
6. コミュニケーション① 言語コミュニケーションについて理解する。					
予習	コミュニケーションについて調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
7. コミュニケーション② 言語コミュニケーションについて理解する。					
予習	コミュニケーションについて調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
8. コミュニケーション③ 言語コミュニケーションについて理解する。					
予習	コミュニケーションについて調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間

○授業計画	科 目 名	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work Practice）	授業コード	E021502
	担当教員	河村 裕次、田中 秀和、林 孝和		
学修内容				
9. コミュニケーション④ 非言語コミュニケーションについて理解する。				
予習	コミュニケーションについて調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
10. コミュニケーション⑤ 非言語コミュニケーションについて理解する。				
予習	コミュニケーションについて調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
11. コミュニケーション⑥ 非言語コミュニケーションについて理解する。				
予習	コミュニケーションについて調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
12. 基本的な面接技術① 面接の構造化について理解する。				
予習	SWrの行う面接について調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
13. 基本的な面接技術② 場の設定について理解する。				
予習	面接時にどのような場（環境）が必要か調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
14. 基本的な面接技術③ 面接におけるツールの活用について理解する。				
予習	面接において活用可能なツールについて調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
15. 前期振り返り 前期の講義内容について振りかえる。				
予習	前期の内容を振り返り、まとめておく。			約2時間
復習	振り返りシートの提出			約2時間
16. オリエンテーション 後期演習Ⅰの意義、目的、内容についての説明				
予習	前期の内容を振り返り、まとめておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work Practice） 河村 裕次、田中 秀和、林 孝和	授業コード	E021502
学修内容					
17. ソーシャルワークの展開過程①(ケースの発見) ソーシャルワークの展開過程(ケースの発見)について理解する。					
予習		SWrがどのようにケースと出会うのかについて調べる。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
18. ソーシャルワークの展開過程②(インテーク) インテークの意義・目的について理解する。					
予習		インテーク面接で特に気を付けなければいけないこと、注意点等についてまとめておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
19. ソーシャルワークの展開過程③(アセスメント) フェースシートの作成(情報収集)方法を学ぶ。					
予習		アセスメントについて調べ、注意点等についてまとめておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
20. ソーシャルワークの展開過程④(アセスメント) アセスメントシートの作成(情報分析)方法を学ぶ。					
予習		資料のアセスメント用紙を確認し、シミュレーションをしておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
21. ソーシャルワークの展開過程⑤(プランニング) 生活課題の捉え方、目標の設定の仕方について学ぶ。					
予習		プランニング時に必要な情報、プランニングの方法等について調べておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
22. ソーシャルワークの展開過程⑥(支援の実施) 必要な社会資源を考え、支援内容について検討をする。					
予習		資料から、自分だったらどのようなプランニングを行うのか考えておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
23. ソーシャルワークの展開過程⑦(モニタリング) どのような視点でモニタリングを行うのか学ぶ					
予習		モニタリングの視点について調べておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
24. ソーシャルワークの展開過程⑧(終結と事後評価) どのような視点で評価等を行うのか学ぶ					
予習		事後評価の重要性、何に役に立つのかまとめておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間

○授業計画		科 目 名	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work Practice）	授業コード	E021502
		担当教員	河村 裕次、田中 秀和、林 孝和		
学修内容					
25. ソーシャルワークの展開過程⑨(アフターケア)					
アフターケアの意義・目的について学ぶ。					
予習		アフターケアの内容について調べておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
26. ソーシャルワークの記録					
支援経過の把握と管理としての記録の意義・目的について理解する。					
予習		記録の種類について調べておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
27. グループダイナミクスの活用①(グループワークの構成)					
グループワークを構成する人(リーダー・コリーダー・メンバー等)の役割について理解する					
予習		各メンバーについて調べておく。			約2時間
復習		プランニングシートの提出			約2時間
28. グループダイナミクスの活用②(グループワークの展開過程)					
グループワークの各展開過程の意義・目的について理解する					
予習		各展開過程について調べる。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
29. プレゼンテーション技術①					
プランニング内容を基に個人又はグループプレゼンテーションを行う					
予習		プレゼンテーションの準備を行う			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
30. 振り返り					
演習Ⅰの内容を振り返るとともに、演習Ⅱとの関連について理解する。					
予習		これまでの演習を振り返り、ソーシャルワークの過程についてまとめておく。			約2時間
復習		振り返りシートの提出			約2時間
31.					
予習					約2時間
復習					約2時間
32.					
予習					約2時間
復習					約2時間